

# 県勢主要統計指標

第 3 7 4 号

平成 2 7 年（2 0 1 5 年）6 月

大分県企画振興部統計調査課

# 今月の概要

## 1 大分県の推計人口(平成27年5月1日現在)

県人口	1,166,006人	(対前月 1,120人増加)
前1ヵ月間の自然動態	400人減少	(出生者数 739人、死亡者数 1,139人)
社会動態	1,520人増加	(転入者数 6,694人、転出者数 5,174人)

## 2 県内経済の動向

### 2-1 主要経済指標の動向

- 1 鉱工業指数 平成27年4月の鉱工業生産指数(季節調整済指数、平成22年=100)は104.2(前月比▲1.0%)となり、2か月ぶりに低下した。
- 2 消費者物価 平成27年4月の大分市消費者物価指数(平成22年=100)は103.9となり、前月に比べて+0.3%と2か月連続で上昇した。
- 3 大型小売店販売額 平成27年4月の大型小売店販売額は89億29百万円で、前年同月に比べ全店ベース、既存店ベースともに+7.1%となり2か月ぶりの増加となった。
- 4 外国貿易 平成27年4月の輸出額は604億19百万円(前年同月比+27.4%)で7か月ぶりの増加、輸入額は1,098億39百万円(同▲23.7%)で4か月連続の減少となった。
- 5 公共工事 平成27年5月の県内公共工事請負金額は95億58百万円で、前年同月に比べて+22.2%と2か月連続で増加した。
- 6 新設住宅着工 平成27年4月の新設住宅着工戸数は479戸で、前年度同月比▲24.6%と2か月ぶりに減少した。内訳では持家、貸家が減少し、給与住宅、分譲住宅が増加した。
- 7 企業倒産 平成27年5月の県内企業倒産は、件数が3件(前年同月比▲40.0%)、負債総額が1,426百万円(同+319.4%)となった。
- 8 職業紹介 平成27年4月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月を0.01ポイント下回り、1.03倍となった。

### 2-2 景気動向指数(DI)(平成27年4月分)

先行指数	16.7%	(2か月連続して50%を下回った)
一致指数	57.1%	(8か月連続して50%を上回った)
遅行指数	33.3%	(5か月ぶりに50%を下回った)

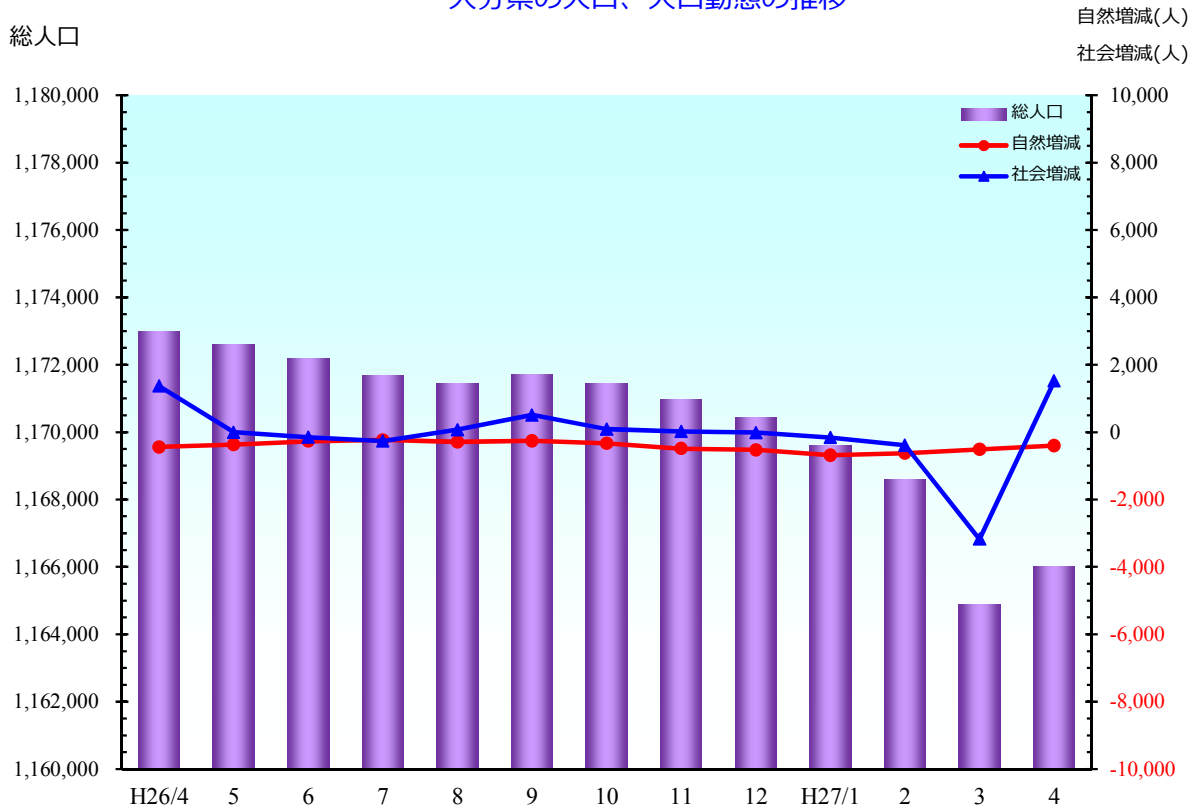
## 指標一覧・目次

番号	指標名	大分県	全国	頁
1	大分県の推計人口	(平成 27 年 5 月 1 日現在) 1,166,006 人 (前月比 +1,120 人 +0.10%) (前年同月比 ▲6,966 人 ▲0.59%)	(平成 27 年 5 月 1 日現在) 1 億 2,688 万人 (前月比 ▲3 万人 ▲0.02%) (前年同月比 ▲22 万人 ▲0.17%)	1
2-1-1	鉱工業指数	(平成 27 年 4 月) 生産指数(季節調整済指数) 104.2 (前月比 ▲1.0%) (原指数 前年同月比 +8.5%)	(平成 27 年 4 月) 生産指数(季節調整済指数)99.3 (前月比 +1.2%) (原指数 前年同月比 +0.1%)	2
2-1-2	消費者物価	大分市(平成 27 年 4 月) 総合指数 103.9 (前月比 +0.3%) (前年同月比 +0.5%)	(平成 27 年 4 月) 総合指数 103.7 (前月比 +0.4%) (前年同月比 +0.6%)	3
2-1-3	大型小売店販売額	(平成 27 年 4 月) 総額 8,929 百万円 (前年同月比 (全店) +7.1%) (前年同月比 (既存店) +7.1%)	(平成 27 年 4 月) 総額 1,608,046 百万円 (前年同月比 (全店) +9.5%) (前年同月比 (既存店) +8.6%)	4
2-1-4	外国貿易	(平成 27 年 4 月) 輸出総額 60,419 百万円 (前年同月比 +27.4%) 輸入総額 109,839 百万円 (前年同月比 ▲23.7%)	(平成 27 年 4 月) 輸出総額 6,550,230 百万円 (前年同月比 +8.0%) 輸入総額 6,605,989 百万円 (前年同月比 ▲4.2%)	5
2-1-5	公共工事	(平成 27 年 5 月) 総額 9,558 百万円 (前年度同月比 +22.2%) (前年度同期比 +21.8%)	(平成 27 年 5 月) 総額 1,129,447 百万円 (前年度同月比 ▲14.0%) (前年度同期比 ▲3.4%)	6
2-1-6	新設住宅着工	(平成 27 年 4 月) 着工戸数 479 戸 (前年度同月比 ▲24.6%) (前年度同期比 ▲24.6%)	(平成 27 年 4 月) 着工戸数 75,617 戸 (前年度同月比 +0.4%) (前年度同期比 +0.4%)	7
2-1-7	企業倒産	(平成 27 年 5 月) 件数 3 件 (前年同月比▲40.0%) 負債総額 1,426 百万円(同+319.4%)	(平成 27 年 5 月) 件数 724 件(前年同月比▲13.2%) 総額 1,278 億円 (同 ▲26.0%)	8
2-1-8	職業紹介	(平成 27 年 4 月) 有効求人倍率 1.03 倍 (前月差 ▲0.01 ポイント) (前年同月差 +0.15 ポイント)	(平成 27 年 4 月) 有効求人倍率 1.17 倍 (前月差 +0.02 ポイント) (前年同月差 +0.09 ポイント)	9
2-2	景気動向指数 (D I)	(平成 27 年 4 月) 一致指数 57.1% 8 か月連続して 50%を上回った	(平成 27 年 4 月) 一致指数 30.0% 2 か月連続して 50%を下回った	11

# 1 大分県の推計人口

平成 27 年 5 月 1 日現在の本県の推計総人口は 1,166,006 人で、前月に比べ 1,120 人増加した。前月との増減要因をみると、自然動態で 400 人の減少、社会動態で 1,520 人の増加となっている。

大分県の人口、人口動態の推移



(注) 総人口は翌月の1日現在

単位: 人、世帯

毎月	総人口	1ヵ月間の人口動態							世帯数
		人口増減	自然動態			社会動態			
			出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
H26/4	1,172,972	929	765	1,207	-442	6,725	5,354	1,371	494,516
5	1,172,594	-378	762	1,135	-373	2,424	2,429	-5	494,728
6	1,172,170	-424	740	1,010	-270	2,270	2,424	-154	494,884
7	1,171,673	-497	830	1,063	-233	2,785	3,049	-264	494,986
8	1,171,451	-222	714	1,006	-292	2,593	2,523	70	495,029
9	1,171,702	251	851	1,108	-257	3,002	2,494	508	495,644
10	1,171,455	-247	785	1,119	-334	2,550	2,463	87	495,839
11	1,170,987	-468	638	1,126	-488	2,007	1,987	20	495,797
12	1,170,447	-540	852	1,381	-529	2,182	2,193	-11	495,511
H27/1	1,169,599	-848	843	1,531	-688	2,141	2,301	-160	495,246
2	1,168,579	-1,020	665	1,291	-626	2,332	2,726	-394	494,805
3	1,164,886	-3,693	735	1,250	-515	7,273	10,451	-3,178	495,267
4	1,166,006	1,120	739	1,139	-400	6,694	5,174	1,520	497,250
この1年間の計		-6,966	9,154	14,159	-5,005	38,253	40,214	-1,961	—

注) 人口及び世帯数は、平成22年国勢調査による確定人口及び世帯数を基にした当該月の翌月1日現在の推計値。

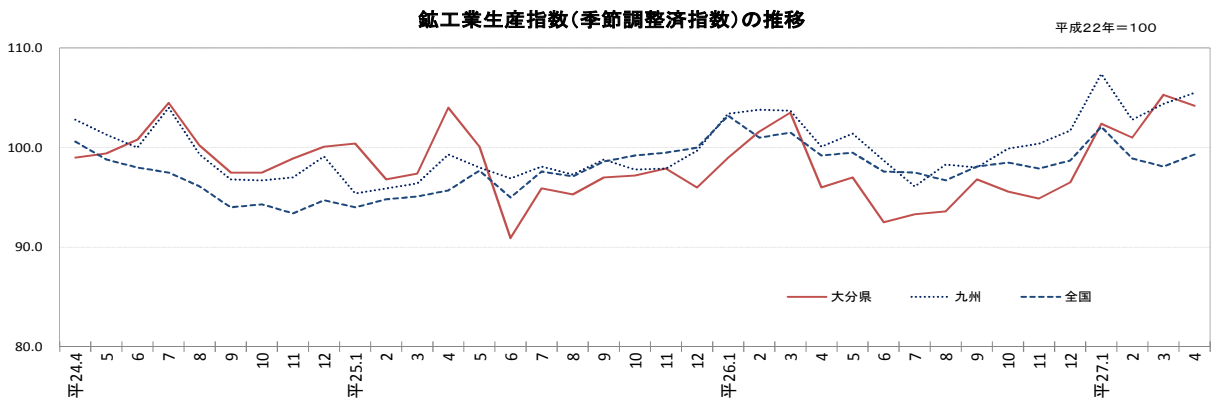
資料: 県統計調査課「大分県の人口推計結果【月報】平成 27 年 4 月分」

## 2-1-1 鋳工業指数

平成27年4月の大分県鋳工業生産指数（季節調整済指数）は104.2（前月比▲1.0%）となり、2か月ぶりに低下した。前月に比べ上昇した業種は、「窯業・土石製品工業」、「食料品工業」、「鉄鋼業」等の8業種で、低下した業種は、「輸送機械工業」、「繊維工業」、「プラスチック製品工業」等の6業種となっている。

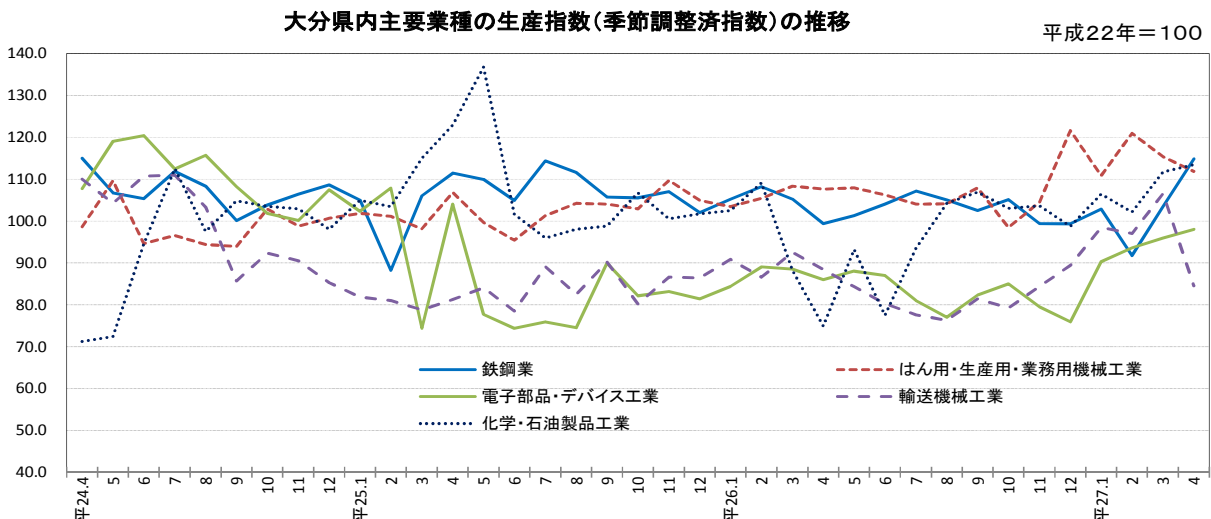
区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比 (%)		前年同月 比 (%)
大 分 県	生 産	104.2	▲ 1.0	98.5	8.5
	出 荷	98.5	▲ 0.2	92.1	6.2
	在 庫	98.7	5.7	95.2	2.9
全 国	生 産	99.3	1.2	96.3	0.1
	出 荷	97.9	0.6	93.1	0.2
	在 庫	113.8	0.4	107.6	6.6
九 州	生 産	105.5	1.1	101.4	5.4
	出 荷	109.0	0.8	102.7	8.0
	在 庫	124.7	2.0	120.5	9.7

※九州は速報値 資料：経済産業省「鋳工業生産・出荷・在庫指数確報」、県統計調査課



### ○業種別動向（生産指数）

上昇業種			低下業種		
業種名	前月比(%)	寄与率(%)	業種名	前月比(%)	寄与率(%)
窯業・土石製品工業	12.3	▲41.0	輸送機械工業	▲20.7	154.7
食料品工業	11.8	▲81.0	繊維工業	▲17.6	4.2
鉄鋼業	10.9	▲135.6	プラスチック製品工業	▲13.0	62.9



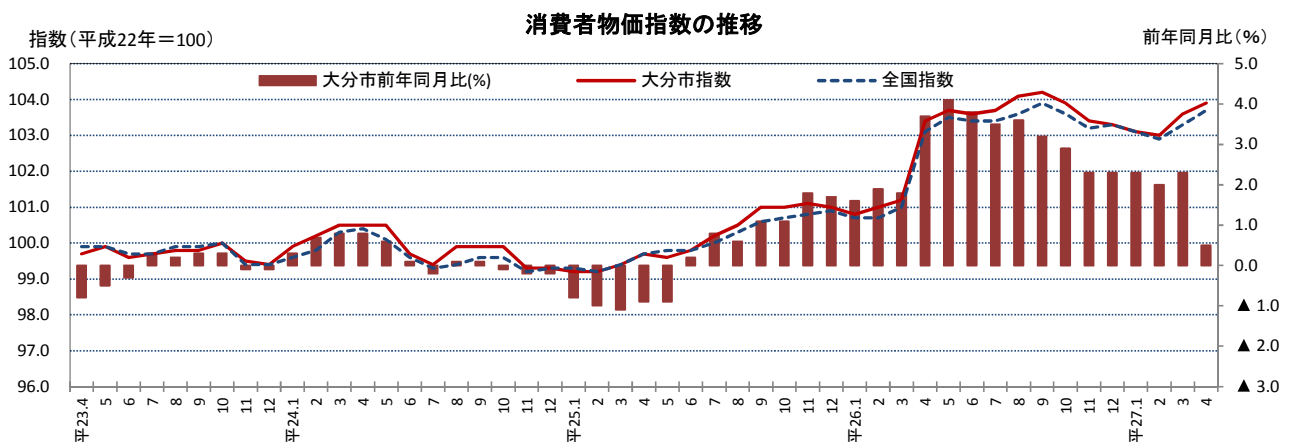
## 2-1-2 消費者物価

平成27年4月の大分市消費者物価指数は、平成22年を100としたとき103.9となり、前月に比べて0.3%上昇した。これを10大費目別にみると、「食料」が野菜・海藻の値上がりなどにより0.2%上昇したこと、「交通・通信」が自動車等関係費の値下がりなどにより0.4%下落したことなどによる。

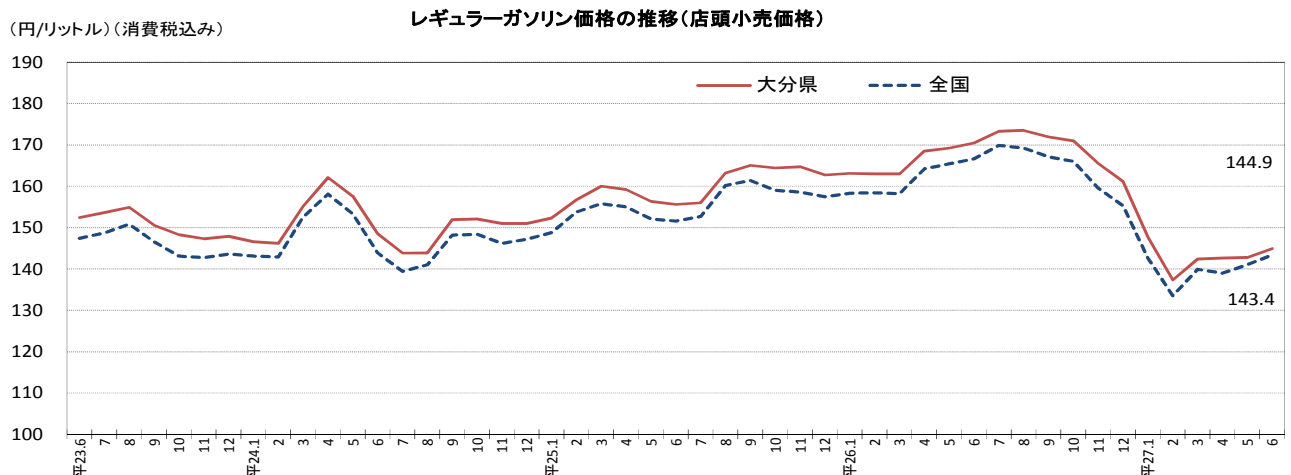
(平成22年=100)

費目	大分市				全国		
	ウェイト	平成27年4月指数	前月比(%)	前年同月比(%)	平成27年4月指数	前月比(%)	前年同月比(%)
総合	10,000	103.9	0.3	0.5	103.7	0.4	0.6
生鮮食品を除く総合	9,615	103.5	0.1	0.2	103.3	0.3	0.3
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6,727	101.9	0.5	0.6	101.0	0.3	0.4
食料	2,574	105.7	0.2	2.3	106.5	1.0	2.7
生鮮食品	385	113.1	4.3	9.7	115.3	3.3	9.2
住居	2,002	99.1	▲0.1	▲0.4	99.1	0.0	0.0
光熱・水道	662	117.1	▲0.2	3.0	119.4	▲0.2	2.2
家具・家事用品	439	97.2	2.1	3.2	95.1	1.4	▲0.3
被服及び履物	448	101.4	3.4	1.7	105.5	2.3	1.8
保健医療	359	100.5	0.6	1.5	99.9	0.6	0.2
交通・通信	1,443	104.5	▲0.4	▲3.7	103.6	▲0.1	▲2.4
教育	269	105.9	4.3	4.7	102.6	1.1	1.5
教養娯楽	1,162	100.6	▲0.8	▲1.2	97.5	▲0.2	▲0.1
諸雑費	642	110.3	0.8	1.3	109.6	0.4	0.3

資料：総務省「消費者物価指数月報」、県統計調査課



参考：レギュラーガソリン価格の推移(店頭現金価格(消費税込み))



## 2-1-3 大型小売店販売額

平成 27 年 4 月の県内大型小売店販売額は 89 億 29 百万円、前年同月比は全店ベースで 7.1%、既存店ベースで 7.1%といずれも 2 か月ぶりの増加となった。

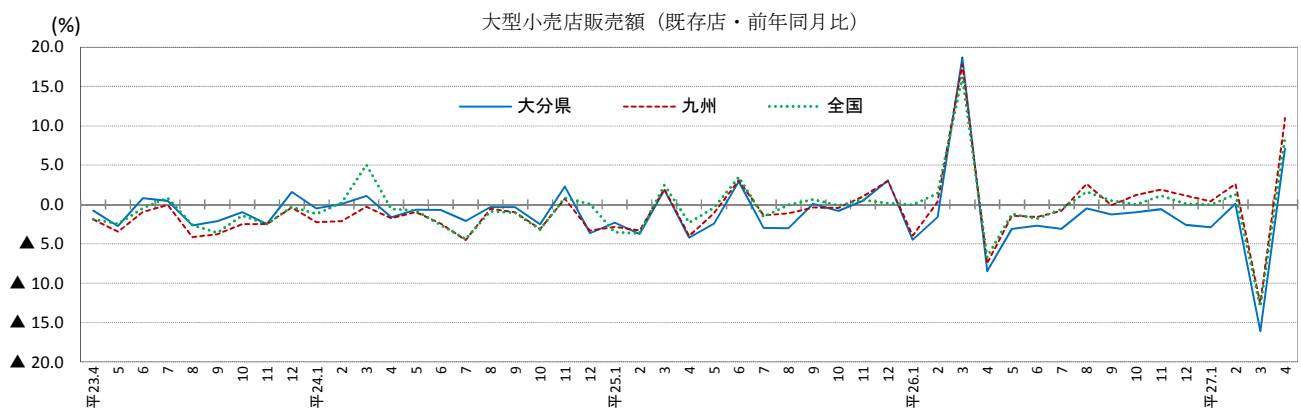
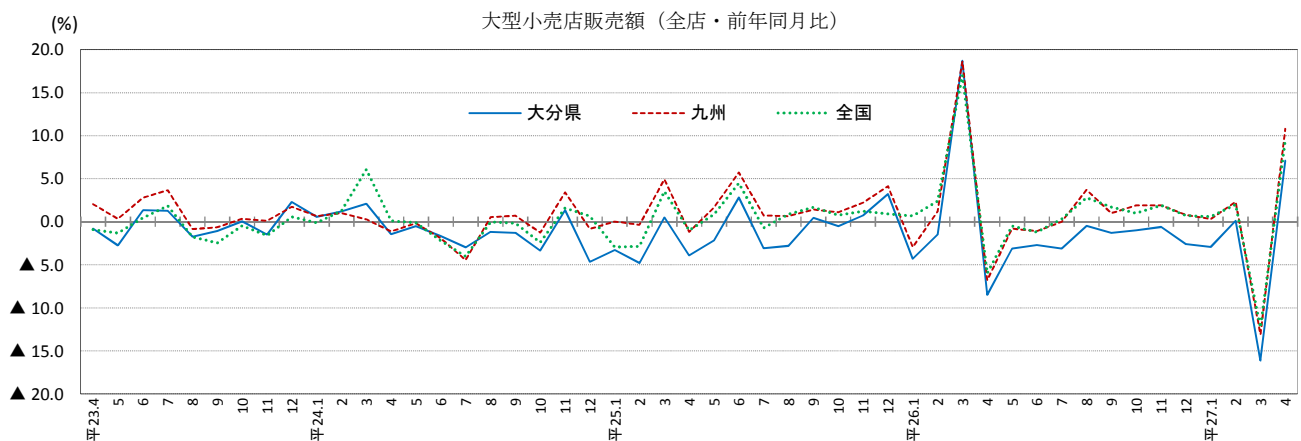
地域別 商品別	大分県			全国		
	百貨店	スーパー	計	百貨店	スーパー	計
	3 店	34 店	37 店	248 店	5,134 店	5,382 店
	販売額 (百万円)	前年同月比 (%)		販売額 (百万円)	前年同月比 (%)	
全 店		既存店	全 店		既存店	
総額	8,929	7.1	7.1	1,608,046	9.5	8.6
衣 料 品	2,682	6.7	6.7	358,880	10.3	10.7
飲 食 料 品	4,056	2.6	2.6	871,910	7.2	5.6
そ の 他	2,191	17.0	17.0	377,256	14.5	13.9

資料：経済産業省「商業販売統計」（平成 27 年 4 月分確報）

注 1：「百貨店」は、注 2 の「スーパー」を除き、売り場面積が特別区及び政令指定都市では 3,000 m<sup>2</sup>以上、その他の地域では 1,500 m<sup>2</sup>以上

注 2：「スーパー」は、売り場面積の 50%以上でセルフサービス方式、かつ売り場面積が 1,500 m<sup>2</sup>以上

注 3：「その他」は、家具、家電、家庭用品、食堂・喫茶など



### ○ 参考 コンビニエンスストアの動向（平成 27 年 4 月）

九州			全国			
店舗数	4,738 (前年同月比+4.1%)		店舗数	53,361 (前年同月比+4.5%)		
商品販売額及びサービス売上高 (百万円)	前年同月比 (%)		商品販売額及びサービス売上高 (百万円)	前年同月比 (%)		
	全 店	既存店		全 店	既存店	
	78,075	9.1	5.1	879,170	8.4	4.1

資料：経済産業省「商業販売統計」、九州経済産業局「九州コンビニエンス・ストア販売動向」（平成 27 年 4 月分確報）

注：調査対象は一定規模以上のコンビニエンスストアのチェーン企業本部。平成 25 年 1 月分から「九州」は沖縄県を含まない。

## 2-1-4 外国貿易

平成27年4月の輸出額は604億19百万円（前年同月比27.4%）で7か月ぶりのプラスとなった。鉄鋼、有機化合物、船舶類などが増加した。輸入額は1,098億39百万円（同▲23.7%）で4か月連続のマイナスとなった。原油及び粗油、液化天然ガス、銅鉱などが減少した。

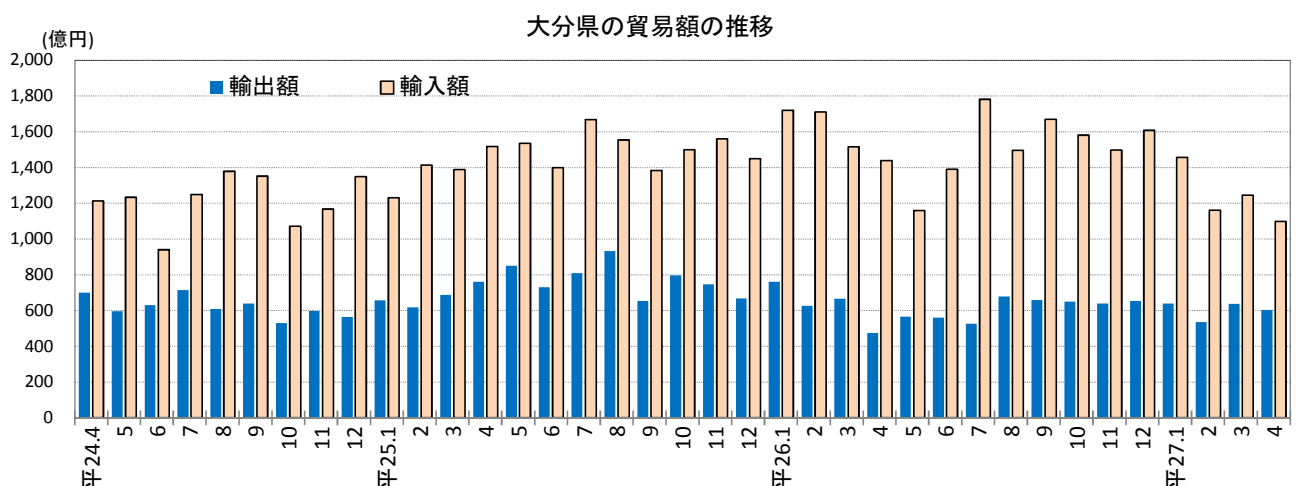
（4月分速報）

（単位：百万円、%）

区分	輸 出				輸 入			
	主要品目等	27年4月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比	主要品目等	27年4月 価 額	前 年 同月比	前 年 同期比
大分県	総額	60,419	27.4	▲4.4	総額	109,839	▲23.7	▲22.3
大分港	有機化合物	10,501	90.6	12.4	鉄鉱石	17,626	▲24.4	▲17.3
	プラスチック	1,087	▲0.2	▲9.1	銅鉱	17,552	▲39.4	▲11.6
	鉄鋼	21,166	38.3	5.6	石炭	16,141	72.2	▲0.8
	銅及び同合金	7,749	▲9.6	5.9	原油及び粗油	28,191	▲31.6	▲40.9
	事務用機器	8,911	15.9	▲7.0	揮発油	9,338	186.3	5.1
	映像機器	519	▲92.5	▲85.2	液化石油ガス	3,697	▲4.8	▲43.0
	船舶類	—	—	▲19.1	液化天然ガス	10,611	▲52.7	▲25.7
	計	56,598	20.3	▲5.7	計	109,109	▲23.7	▲22.3
佐伯港	船舶類	2,883	全増	66.9	鉄鋼	83	95.4	▲7.9
	魚介類(鮮魚・冷凍)	—	—	全減	石こう	53	31.4	▲19.5
	木材	28	全増	229.3	木材	—	—	全増
	荷役機械	—	—	全増	その他の調製食料品	—	—	12.6
					動物性原材料	—	全減	全減
	計	2,911	全増	82.7	計	135	28.8	15.2
津久見港	船舶類	—	—	▲24.0	石炭	177	▲78.6	▲43.2
	セメント	778	155.5	36.7	石油コークス	390	全増	▲1.1
	石灰石	105	90.0	36.7	アルコール飲料	28	全増	1,301.7
	計	910	143.2	▲14.4	計	594	▲27.9	▲37.0
大分空港	再輸出品	—	—	全増	金属製品	—	—	全増
	輸送用機器	—	—	全増	輸送用機器	—	—	750.8
					精密機器類	—	—	全増
	計	—	—	全増	計	—	—	1,083.6
全国	総額	6,550,230	8.0	8.8	総額	6,605,989	▲4.2	▲8.1

資料：財務省「貿易統計（輸出確報；輸入速報）」、大分税関支署「管内貿易概況」（平成27年4月分）

注）「前年同期比」は、暦年（1～12月）累計の比較（増減率）





## 2-1-5 公共工事

平成27年5月の県内公共工事請負金額は95億58百万円で、前年度同月に比べて22.2%の増となり、2か月連続して増加した。発注者別では、独立行政法人等が前年度同月比で1,913.3%、市町村が同139.5%増加し、国が同68.8%、県が同4.4%、その他の公共団体が同56.3%減少した。

(単位:百万円、%)

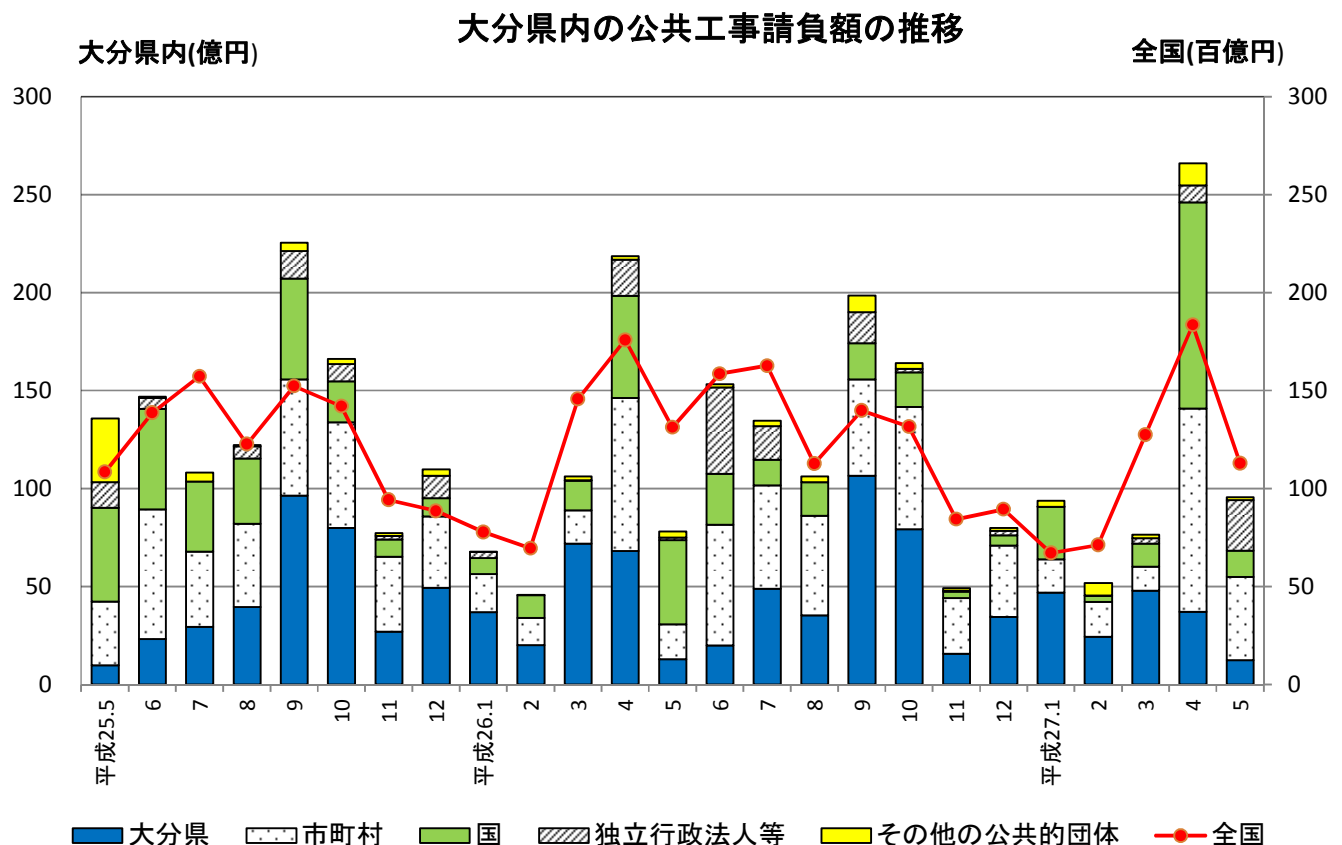
項目 発注者	大分県				全国			
	27年 5月	前年度 同月比	27年度 累計	前年度 同期比	27年 5月	前年度 同月比	27年度 累計	前年度 同期比
総額	9,558	22.2	36,178	21.8	1,129,447	▲14.0	2,965,559	▲3.4
国	1,338	▲68.8	11,855	24.6	231,157	▲28.2	410,932	▲20.1
独立行政法人等	2,577	1,913.3	3,448	75.7	188,459	37.6	460,874	21.9
都道府県	1,241	▲4.4	4,961	▲39.0	265,032	▲17.1	794,980	▲5.8
市町村	4,258	139.5	14,628	52.6	382,551	▲14.2	1,094,059	▲1.2
その他の公共的団体	142	▲56.3	1,281	149.2	62,246	▲29.2	204,709	▲9.9

注1:「この統計は、公共工事の前払金保証を集計した業務統計であり、公共工事のほとんどをカバーしている。」(西日本建設業保証株)

注2:「独立行政法人等」には独立行政法人のほか、各高速道路(株)、国立大学法人、大学共同利用機関法人、特殊法人等を含む。

注3:「前年度同期比」は、年度(4月～翌年3月)累計の比較(増減率)

注4:「27年度累計」及び「前年度同期比」は、統計調査課で計算



## 2-1-6 新設住宅着工

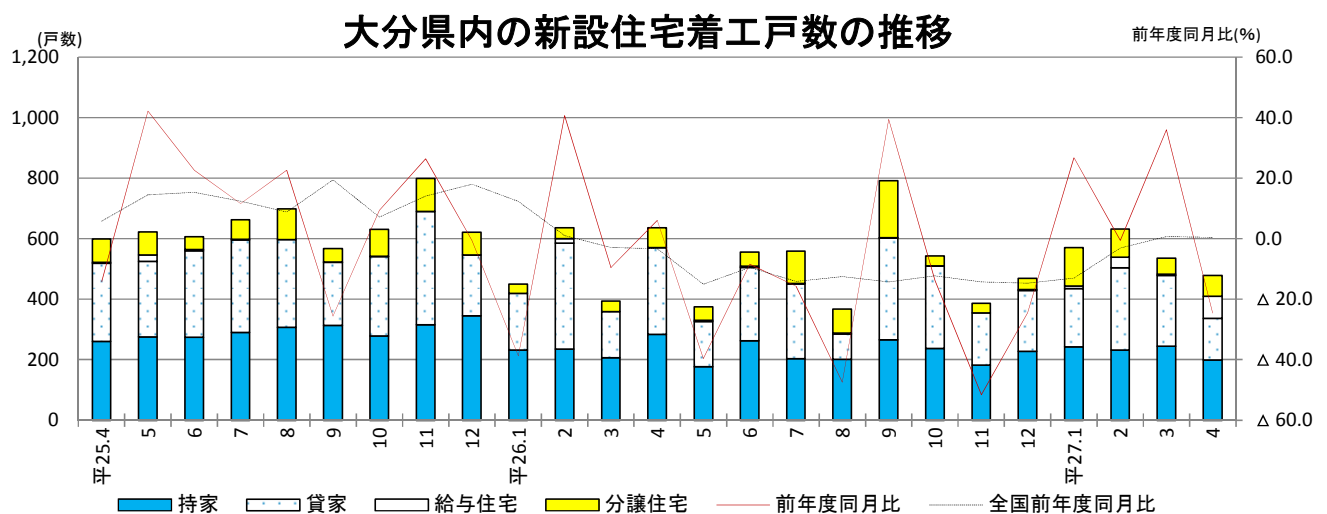
平成27年4月の新設住宅着工戸数は479戸で、前年度同月に比べ▲24.6%と2か月ぶりに減少した。内訳は、持家200戸(同▲29.3%)、貸家137戸(同▲52.1%)などであった。

(単位：戸、%)

項目	大分県				全国			
	27年 4月	前年度 同月比	27年度 累計	前年度 同期比	27年 4月	前年度 同月比	27年度 累計	前年度 同期比
総数	479	▲24.6	479	▲24.6	75,617	0.4	75,617	0.4
持家	200	▲29.3	200	▲29.3	23,294	▲2.1	23,294	▲2.1
貸家	137	▲52.1	137	▲52.1	30,603	▲1.8	30,603	▲1.8
給与住宅	74	7,300.0	74	7,300.0	600	0.0	600	0.0
分譲住宅	68	4.6	68	4.6	21,120	7.2	21,120	7.2

資料：国土交通省総合政策局「建築着工統計調査」、県建築住宅課

注：「前年度同期比」は、年度（4月～翌年3月）累計の比較（増減率）



### ○ 市町村別新設住宅着工戸数（27年4月）

(単位：戸数)

	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	計
大分市	84	80	73	55	292
別府市	9	19	0	3	31
中津市	14	0	0	6	20
日田市	5	0	0	0	5
佐伯市	18	0	0	2	20
臼杵市	6	0	0	1	7
津久見市	4	0	0	0	4
竹田市	3	0	0	0	3
豊後高田市	10	0	0	0	10
杵築市	6	0	0	0	6
宇佐市	11	0	0	0	11
豊後大野市	3	16	0	0	19
由布市	12	12	0	1	25
国東市	3	0	0	0	3
姫島村	1	0	0	0	1
日出町	4	10	0	1	15
九重町	3	0	0	0	3
玖珠町	4	0	0	0	4
県計	200	137	73	69	479

資料：県建築住宅課

注：国土交通省と県建築住宅課発表の数値は、データ読み取り方法により異なる場合がある。

## 2-1-7 企業倒産

平成27年5月の県内企業倒産は、件数が3件（前年同月比▲40.0%）、負債総額は1,426百万円（同+319.4%）となった。業種別では、建設業が2件、サービス業・その他が1件であった。原因別では、販売不振1件、その他2件であった。

### 大分県内企業倒産

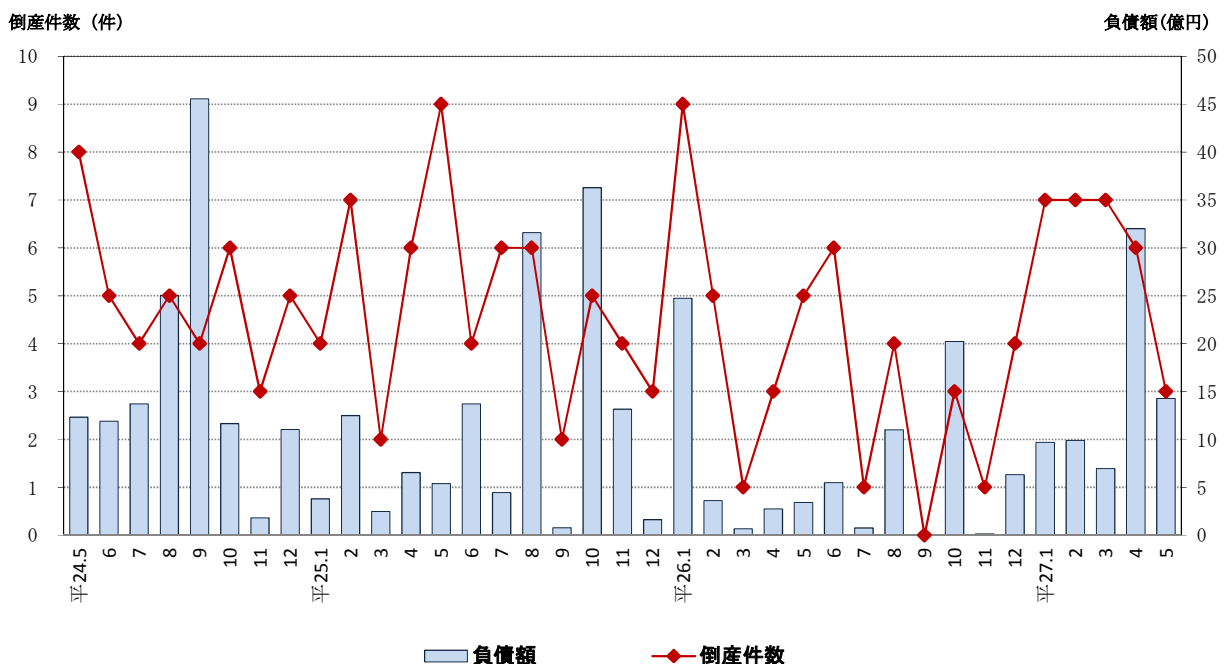
（単位：件、百万円、%）

	倒産 件数	負債 金額	1件当り 負債金額	原因別							
				放漫経営		販売不振		連鎖		その他	
				件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額	件数	負債額
22	71	9,312	131	4	1,184	37	3,123	4	162	26	4,843
23	66	14,376	218	4	570	22	3,862	1	418	39	9,526
24	67	16,178	241	5	4,973	34	5,710	5	641	23	4,854
25	58	13,216	228	4	3,088	30	3,668	6	442	18	6,018
26	42	7,895	188	1	30	17	1,369	4	2,150	20	4,346
対前年比	▲27.6	▲40.3	▲17.5	▲75.0	▲99.0	▲43.3	▲62.7	▲33.3	386.4	11.1	▲27.8
26/5	5	340	68	-	-	3	231	-	-	2	109
6	6	545	91	-	-	1	15	1	56	4	474
7	1	74	74	-	-	-	-	-	-	1	74
8	4	1,099	275	-	-	1	16	1	59	2	1,024
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	3	2,022	674	-	-	2	22	1	2,000	-	-
11	1	12	12	-	-	1	12	-	-	-	-
12	4	631	158	-	-	3	331	-	-	1	300
27/1	7	969	138	1	73	3	423	1	90	2	383
2	7	989	141	1	30	1	52	1	50	4	857
3	7	695	99	-	-	2	164	-	-	5	531
4	6	3,201	534	-	-	3	2,594	3	607	-	-
5	3	1,426	475	-	-	1	12	-	-	2	1,414
対前月比	▲50.0	▲55.5	▲10.9	-	-	▲66.7	▲99.5	▲100.0	▲100.0	全増	全増
対前年同月比	▲40.0	319.4	599.0	-	-	▲66.7	▲94.8	-	-	0.0	1197.2

資料：東京商工リサーチ大分支店「大分県企業倒産状況」（負債総額1000万円以上）

注）「対前年比」、「対前月比」及び「対前年同月比」は増減率

### 大分県内企業倒産件数、負債額の推移



## 2-1-8 職業紹介

平成 27 年 4 月の有効求人倍率（季節調整値）は 1.03 倍で、前月を 0.01 ポイント下回った。正社員有効求人倍率（原数値）は 0.65 倍となり、前年同月を 0.10 ポイント上回った。

（単位：人、件、倍、%、ポイント）

			大 分 県			全 国		
			27年 4月	前 月 比(差)	前年同月 比(差)	27年 4月	前 月 比(差)	前年同月 比(差)
一 般 （ 新 規 学 卒 者 を 除 き ）	求 職	新規求職申込件数	7,697	19.7	▲ 6.8	653,917	20.9	▲ 7.8
		月間有効求職者数	24,121	3.7	▲ 8.1	2,184,420	5.5	▲ 5.0
	求 人	新規求人数	8,764	▲ 3.6	6.6	861,080	▲ 1.6	0.1
		月間有効求人数	23,392	▲ 6.4	8.1	2,359,790	▲ 4.8	2.7
	求 人 倍 率	新規求人倍率	1.50	▲ 0.10	0.19	1.77	0.05	0.13
		有効求人倍率	1.03	▲ 0.01	0.15	1.17	0.02	0.09
	就職件数		2,890	▲ 9.9	▲ 4.2	191,606	▲ 5.4	▲ 4.8
正 社 員	常用フルタイム 有効求職者数		15,538	0.9	▲ 11.4	1,469,938	3.5	▲ 6.9
	正社員新規求人数		3,840	6.1	1.3	364,255	5.7	1.2
	正社員有効求人数		10,176	▲ 4.2	5.1	990,287	▲ 3.1	3.4
	正社員有効求人倍率		0.65	▲ 0.04	0.10	0.67	▲ 0.05	0.06
	正社員就職件数		1,235	▲ 3.8	▲ 8.2	79,317	0.0	▲ 4.6

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局

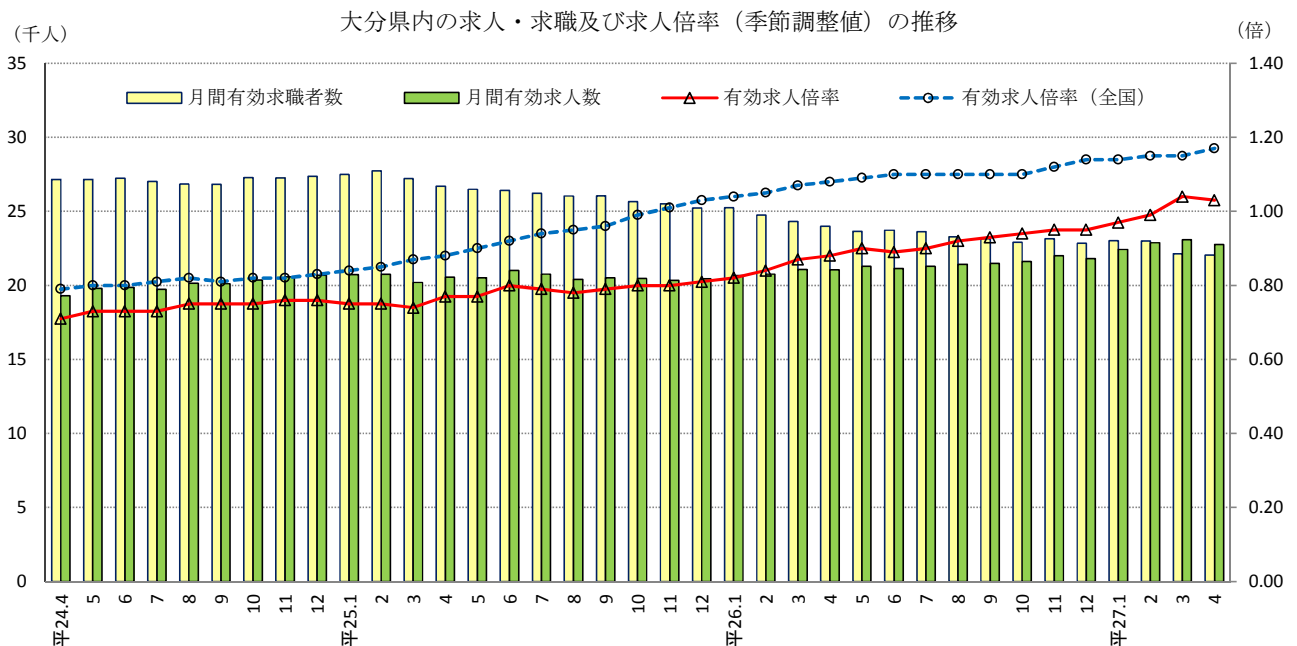
注 1：新規求人倍率 = 新規求人数 ÷ 新規求職申込件数

注 2：有効求人倍率 = 月間有効求人数 ÷ 月間有効求職者数

注 3：「一般」において新規求人倍率・有効求人倍率は「季節調整値」、その他は「原数値」

注 4：「正社員」に関する数値はすべて「原数値」

注 5：正社員有効求人倍率 = 正社員有効求人数 ÷ 常用フルタイム有効求職者数



## 安定所別月間有効求人倍率の推移

年度 月	大分	別府	中津	日田	佐伯	宇佐	豊後 大野	大分県 原数値	(単位:倍)		(単位:%)	
									大分県	全 国	完全失業率	
											大分県	全 国
22	0.57	0.56	0.52	0.54	0.63	0.69	0.63	0.58	0.58	0.56	4.6	5.1
23	0.64	0.67	0.66	0.64	0.74	0.80	0.86	0.68	0.68	0.68	4.1	[4.6]
24	0.72	0.67	0.72	0.84	0.81	0.83	0.85	0.74	0.74	0.82	3.8	4.3
25	0.81	0.66	0.78	0.93	0.81	0.86	1.05	0.80	0.80	0.97	3.8	4.0
26	0.95	0.85	0.95	0.87	0.94	1.06	1.17	0.94	0.94	1.11	3.3	3.6

26.4	0.87	0.65	0.81	0.79	0.85	0.88	1.05	0.82	0.88	1.08	3.7	3.6
5	0.84	0.66	0.82	0.75	0.87	0.85	1.05	0.81	0.90	1.09		3.6
6	0.86	0.66	0.83	0.79	0.91	0.89	1.01	0.83	0.89	1.10		3.7
7	0.87	0.77	0.91	0.86	0.90	0.99	1.07	0.87	0.90	1.10	3.1	3.7
8	0.89	0.82	0.95	0.90	0.89	1.04	1.15	0.90	0.92	1.10		3.5
9	0.94	0.85	0.98	0.91	0.89	1.08	1.19	0.94	0.93	1.10		3.6
10	0.96	0.95	0.98	0.91	0.91	1.15	1.23	0.97	0.94	1.10	3.2	3.5
11	0.96	0.96	1.06	0.87	1.00	1.17	1.30	0.99	0.95	1.12		3.5
12	0.97	1.00	1.09	0.91	1.05	1.22	1.37	1.02	0.95	1.14		3.4
27.1	1.02	1.00	1.05	0.88	1.01	1.19	1.25	1.03	0.97	1.14	3.2	3.6
2	1.07	1.02	1.04	0.95	1.00	1.19	1.28	1.06	0.99	1.15		3.5
3	1.13	1.00	0.99	0.95	1.04	1.14	1.20	1.07	1.04	1.15		3.4
4	1.01	0.87	0.91	0.92	0.90	1.08	1.12	0.97	1.03	1.17		3.3

## 九州・沖縄八県別有効求人倍率の推移

	(単位:倍)				
	27年4月	27年3月	26年4月	前月差 (ポイント)	前年同月差 (ポイント)
福岡県	1.06	1.04	0.92	0.02	0.14
佐賀県	0.88	0.88	0.90	0.00	▲ 0.02
長崎県	0.96	0.97	0.81	▲ 0.01	0.15
熊本県	1.09	1.05	0.95	0.04	0.14
大分県	1.03	1.04	0.88	▲ 0.01	0.15
宮崎県	0.99	0.98	0.92	0.01	0.07
鹿児島県	0.87	0.86	0.74	0.01	0.13
沖縄県	0.80	0.79	0.65	0.01	0.15
九州平均	0.98	0.97	0.86	0.01	0.12
全 国	1.17	1.15	1.08	0.02	0.09

資料：厚生労働省職業安定局、大分労働局「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」

注1：有効求人倍率の各年度は原数値。各月は季節調整値。なお、平成26年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

注2：九州平均は、九州各県の有効求人数(季調値)の合計を有効求職者数(季調値)の合計で除したものの。

注3：完全失業率の推移は年。全国の月分は季節調整値。大分県の期分は、モデル推計値(総務省統計局公表)。

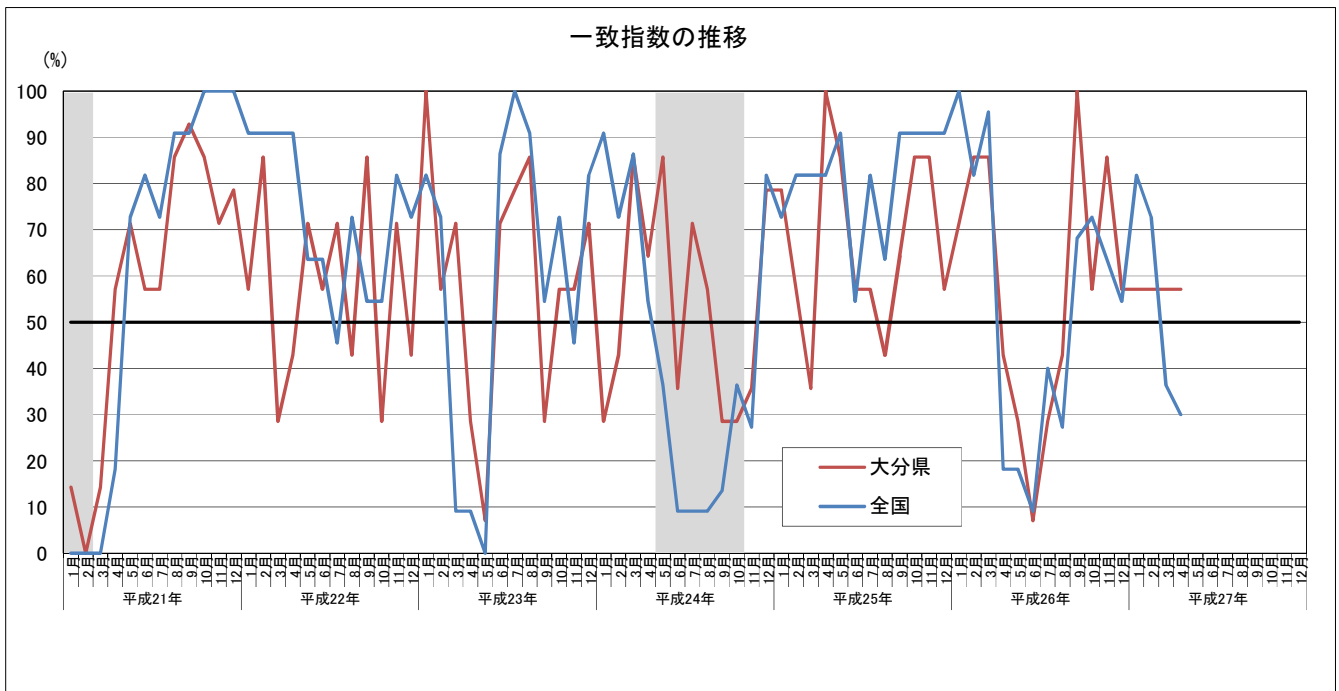
(全国の平成26年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。)

(全国の[ ]内数値は、補間推計値。)

(大分県の平成26年12月以前のモデル推計値はH27.5.29に遡及改訂されている。)

## 2-2 景気動向指数

平成27年4月分の大分県景気動向指数(DI)をみると、景気にほぼ一致して動く一致指数は57.1%となり、8か月連続して50%を上回った。また、景気に対し先行して動く先行指数は16.7%となり、2か月連続して50%を下回った。他方、景気に対し遅れて動く遅行指数は33.3%となり、5か月ぶりに50%を下回った。



資料：内閣府経済社会総合研究所、県統計調査課

注1：指数が50%を上回る期間は「景気回復・拡大期」、50%を下回る期間は「景気後退期」とみる。

注2：シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

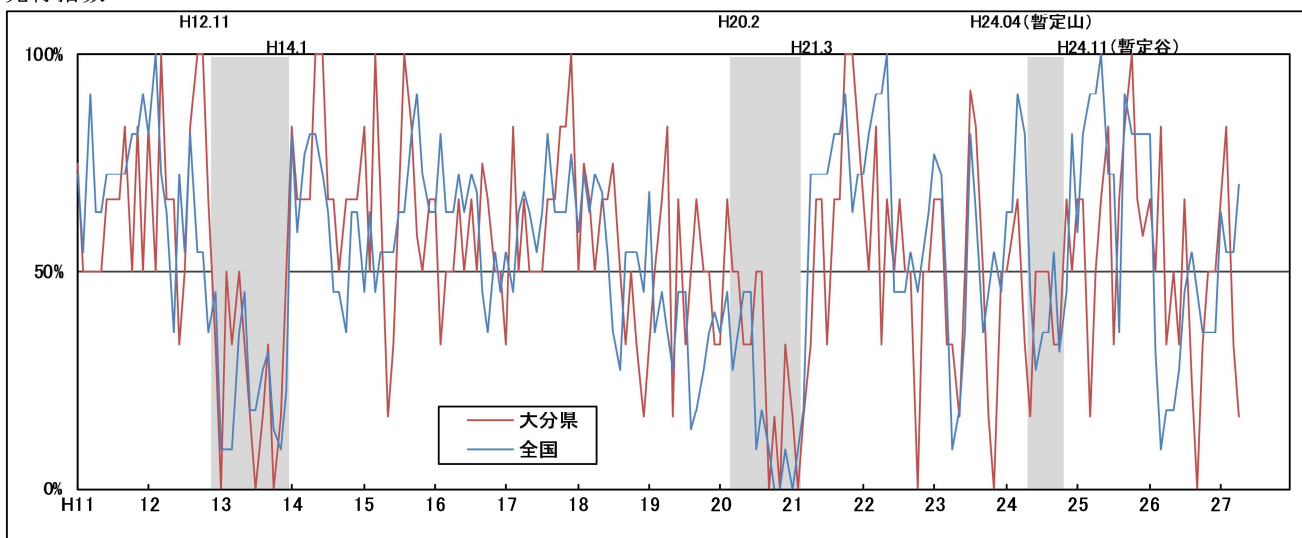
### 個別指標の動き（平成27年4月分）

プラスの指標	連続月数	マイナスの指標	連続月数
先行系列			
		01 新規求人数	1
		02 所定外労働時間	2
		03 鉱工業在庫率(逆)	1
		04 不渡手形発生枚数(逆)	2
		05 雇用保険初回受給者数(逆)	2
06 日経商品指数 (42種)	1		
一致系列			
01 鉱工業生産指数	4		
02 鉱工業出荷指数	4		
		03 投資財生産指数	1
04 大口電力販売量	1		
05 有効求人倍率	16		
		06 県内新車販売台数	4
		07 県内輸入額	5
遅行系列			
01 有効求職者数(逆)	3		
		02 常用雇用指数	1
		03 資本財出荷指数	1
04 第3次産業活動指数	1		
		05 大分市消費者物価指数	9
		06 法人事業税調定額	3

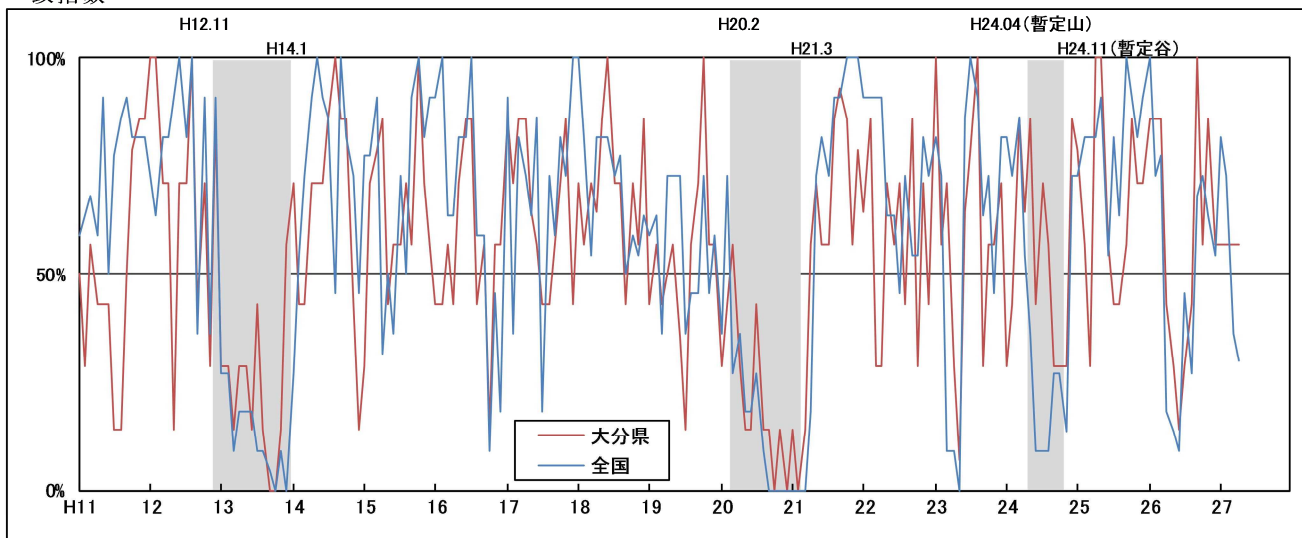
# 大分県景気動向指数 (DI) の動き

平成27年4月

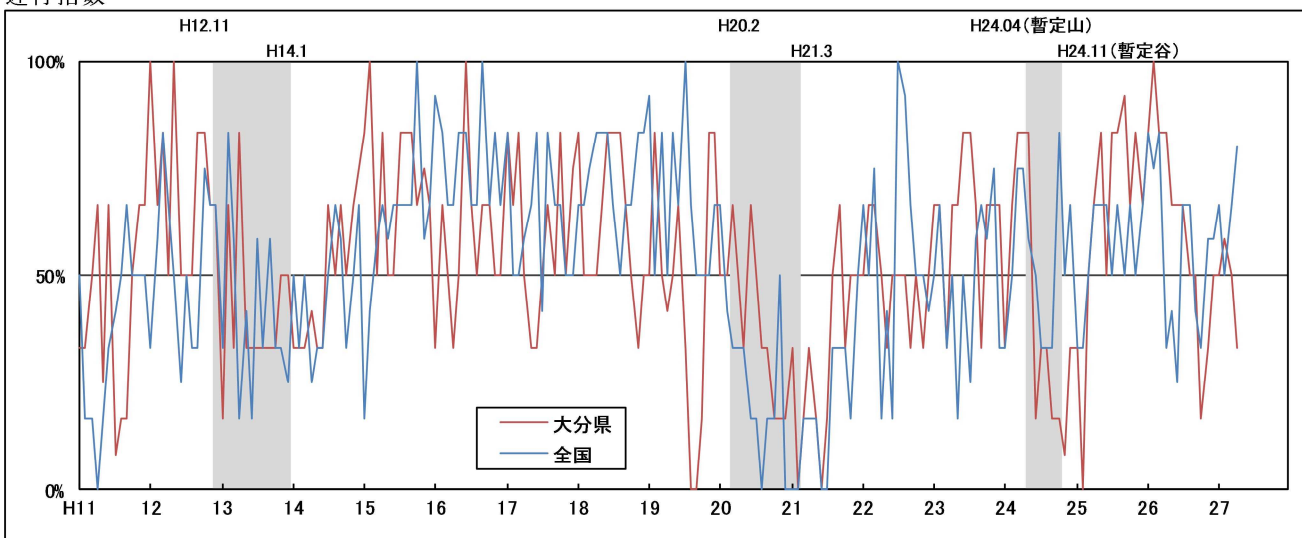
先行指数



一致指数



遅行指数



(注) シャドウ部分は景気後退期（内閣府経済社会総合研究所設定の景気基準日付による）を示す。

問合せ先

大分県大分市大手町3丁目1番1号（〒870-8501）

大分県企画振興部 統計調査課 統計分析班

電話：(097) 506-2446（直通）

FAX：(097) 506-1727

メール：[a10800@pref.oita.lg.jp](mailto:a10800@pref.oita.lg.jp)